

# 教師ノート

週課	第二年 第七課 第五週
単元	モーセ・2
テーマ	主を信じる者は救われる
タイトル	青銅のへび
テキスト	民数記21:4-9
参照箇所	ヨハネ3:14-15、Ⅱ列王記18:4、Iコリント10:9
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	イザヤ45:22
AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)	小下3巻1題13課、小上1巻2題1課

## □導入

例:イスラエルの人々は、神さまを信頼しなかったので、40年間も荒野をさまようことになりましたね。みなさんのお父さんお母さんが生まれて今までで、だいたい40年くらいではないでしょうか。とっても長い年月ですね。「あの時、勇気を出してカナンに入っていれば、こんなに苦しい旅を続けなくてよかったのに・・・」「これからは、神さまを信じていこう・・・」と言いながら歩いたかもしれませんね。テントを張って休みながら、荒野の旅を続けました。

☞先週のテキスト(14章)から、今週のテキストまで、たくさんの重要なできごとがあります。安息日にたきぎを集めた人の死刑(15:32-36)、コラたちの反逆(16:1-35)、つぶやいた民への神罰(16:36-17:13)、ミリヤムの死(20:1)、メリバの水におけるモーセとアロンの罪(20:2-13)、アロンの死(20:22-29)など。メッセンジャーは、よく読んで、背景を理解しておきましょう。

## □ポイント1 イスラエルの人々は、神さまとモーセに逆りました(4-6節)

イスラエルの民は、荒野を進んでいました。苦しい日が何日も続きました。荒野を歩くだけでも、人々は疲れていたでしょう。さらに、アロンの死という悲しいできごとや、戦争もありました。いつまでたっても、目的地につけないのは、自分たちのせいでしたが、だんだんイライラがたまってきました。そして、とうとう我慢ができなくなり、モーセに逆らって、文句を言いました。「なぜ、おいしい食べ物や飲み水がたくさんあったエジプトから、私たちを連れ出したのですか!? こんな荒野で苦しんで死ぬのはイヤだ。」また前と同じようにつぶやいてしまいました。それどころか、神さまが与えてくださったマナのことまで文句を言いました。「もう、マナには飽きてしまった。こんなみじめな食事だけで、やってられるか!」神さまが与えてくださっているマナを感謝することを忘れて、「みじめな食物」と言ってバカにし、つぶやくとは何ということでしょう。

そんなイスラエルの民に、神さまは、直ちに罰をお下しになりました。恐ろしい毒へびを送られたのです。へびは、あちらこちらに現れ、たくさんの人々に噛み付きました。「燃えるへび」というのは、噛まれたとき、燃えるように痛いという意味かもしれません。また、その毒で、噛まれた人は、体中が火で焼かれるような熱で苦しむのかもしれません。いずれにしても、たいへん強い毒をもったへびでした。

それで、大勢の人が死んでしまいました。たいへんなことになりました。噛まれた人は、苦しんで、どんどん死んでいきます。

☞これまでは、罰を下す前に、神さまはモーセに語りかけてくださいました。しかし、今回は直ちにへびを送られました。

## □ポイント2 イスラエルの人々は罪を認め、助けを求めました(7)

人々は、モーセのところに来て、助けを求めて言いました。「私たちは、罪を犯してしまいました。神さまとあなたに文句を言ってしまうました。反省しています。どうか、このヘビを私たちから取り去ってくださるように、神さまにいのってください。」

モーセは民のために祈りました。このときモーセがどんな気持ちだったかは、書いてありません。いつも同じ失敗を繰り返す民を見て、どう思ったでしょうか。民は、罪を犯したことを悔い改めました。しかし本当は、罰を見てはじめて気づくのではなく、自分から悔い改めるべきです。モーセはすぐに神さまに祈りました。

## □ポイント3 青銅のヘビを見上げた人は救われました(8-9)

神さまは、すぐに祈りにこたえてくださいました。「あなたは燃える蛇を作り、それを旗ざおの上につけなさい。ヘビに噛まれた人はすべて、それを見上げれば、生きます。」

モーセは、神さまの言うとおりに、青銅でヘビの形を造りました。そして、それを旗ざおの上につけて、みんなに見えるように、高くかけました。

なんと不思議なことでしょう！ヘビに噛まれて苦しんでいる人でも、助けを求めてそのヘビを見上げると、治りました。青銅で作ったヘビを見上げるだけで、癒されたのです。神さまは、あわれみ深く、なんでもできるお方です。

☞ 青銅＝銅と錫(すず)との合金。銅像はふつう青銅で作られます。

## □結論 青銅のヘビを見上げた人は、罪の罰の死から救われました

私たちは、ただ信仰をもって、十字架のイエスさまを見上げることによって救われます。ヘビに噛まれて死ぬことは、神さまに逆らった罪への罰でした。しかし、旗ざおに上げられたヘビを見上げると、その罪の罰としての死から救われました。旧約聖書には、このようにイエスさまのことを、あらかじめあらわしているところ(予表)があります(過越を思い出しましょう)。イエスさまご自身も、ヨハネ福音書3章16節の大切なみことばの前に、この青銅のヘビの話をされました。イスラエルの民は、「ヘビを取り去ってください」と願ったのに、神さまは青銅のヘビを見上げるという方法で民を救われました。イエスさまを信仰をもって見上げるだけ(信じるだけ)で救われることは、神さまの方法なのです。

※青銅のヘビに救いと癒しのチカラがあったわけではありません。ヘビを偶像化したり、「金の子牛」と混同しないように注意しましょう。民を死から救い、毒を癒した力は、金属で作った蛇ではなく、神さまご自身にあるのです。

## □適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

### 例1) イエスさまを見上げて救われよう！

神さまは、私たちを愛してくださっています。私たちは、罪を犯してしまいます。その報いは死です。でも、神さまは、だれの命も滅びてほしくない、そのために、イエスさまを身代わりとして、十字架にかけてくださいました。私たちは、イエスさまを信仰をもって見上げるだけ(信じるだけ)で、罪から救われるのです。心も癒されます。これ以外に方法はないのです。神さまは、あなたのことを、そのひとり子の命を与えるほどに大切に思っているのです。

### 例2) いつも与えられている「マナ＝みことば」に感謝しよう。

イスラエルの民にマナが与えられていたように、みなさんには、「命のパン」であるみことばがいつも与えられています。いつも感謝して食べていますか？「もう飽きた」とか「つまらない」と文句や不満を言っていないですか？みことばが与えられていることに感謝しよう。礼拝のメッセージやディボーションで、喜んで命のパンを食べよう。暗唱聖句をしよう。よい地に落ちた種は、100倍祝福されます！